

# 新市まちづくりに向けた初の本格予算 12会計 総額で1000億円

市町合併後初となる新「豊岡市」の本格的な平成17年度の当初予算案がまとまりました。皆さんが納める税金や国・県からの補助金などが、新市のまちづくりのためにどのように活用されるのかご覧ください。なお、この予算案は、豊岡市議会6月定例会で審議されます。

## 予算の概要

一般会計は  
585億8957万円

平成17年度の予算(表1参照)は、一般、特別、企業会計を合わせた12会計の総額が1000億1698万円。合併前の旧1市5町と旧北但行政事務組合を合わせた前年度予算と比べ11・7%増となりました。

このうち、私たちの生活に最も関わりが深く、基本的な経理を行う一般会計の予算額は、585億8957万円。前年度と比べ15・1%の大幅増となっています。

ただし、台風23号災害の関連経費、旧市町の未払い金や合併に伴い発生した特殊経費ならびに基金造成を差し引くと実質は435億6709万円、前年度と比べ9・1%の減と緊縮型の予算編成となっています。

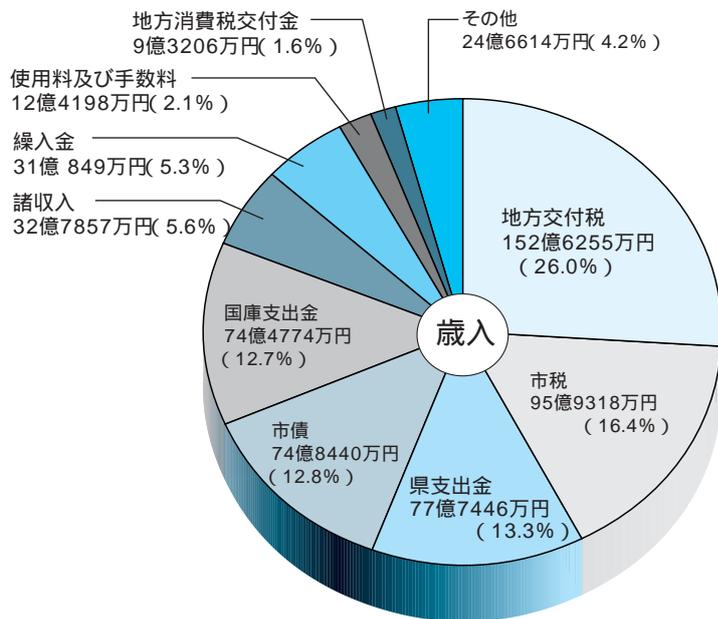
市債現在高は

15335億円

市債(借金)は、皆さんの恒久的な福祉向上のための施設

## 一般会計・目的別予算の内訳

(グラフ1)



## 会計別予算一覧

(表1)

区分	予算額
一般会計	585億8957万円
特別会計	261億3924万円
国民健康保険事業(事業勘定)	88億5334万円
国民健康保険事業(直診勘定)	9084万円
老人保健医療事業	90億9265万円
介護保険事業	63億621万円
診療所事業	1億8609万円
墓地公園事業	8620万円
簡易水道事業	13億6362万円
宅地事業	1億6029万円
企業会計	152億8817万円
水道事業	36億3724万円
下水道事業	114億2114万円
農業共済事業	2億2979万円
合計	1000億1698万円

## 市債残高

(表2)

会計	市債残高
一般	657億円
特別	82億円
企業	796億円
合計	1535億円
市民1人当たり	165万円

平成17年度末見込み

建設(道路・学校などの都市基盤)に活用します。また、市債には将来的に施設を利用する市民の方にも返済を負担していただき、世代間の公平を図る重要な役割があります。平成17年度末の市債の現在高(表2参照)は、一般・特別・企業の3会計を合わせると、1534億8422万円(前年対比0・6%増)になる見込みで、市民一人当たりになると165万円になります。借入返済は将来の義務的経費になるため、市債発行の抑制と計画的な借入れを行う必要があります。

## 一般会計・歳入

財政調整基金から

13億円取り崩し

一般会計の歳入の内訳(グ

## 一般会計・歳出

### 災害復旧費に

72億4486万円

ラフ1参照)で、最も大きな割合を占めるのは、地方交付税(どの地方公共団体も等しく事務・事業をできるように国が交付するお金)で、152億6255万円、全体の26.0%を占めています。三位一体改革により引き続き総額が抑制されていますが、市町合併による算定替えなどにより前年度より増額を見込んでいます。

一方、自主財源の一つである市税は、95億9318万円、16.4%にとどまり、台風23号の影響により減収を見込んでいます。

これらの財源不足を補つため、旧1市5町から引き継いだ財政調整基金36億7467万円から10億289万円を取り崩し、加えて被災者生活再建支援基金への原資として3億円を取り崩します。

また、道路や施設を整備するために借入れる市債は、74億8440万円、12.8%の割合となっており、市債残高の増加傾向に歯止めをかけるには至らず、厳しい財政状況となっています。

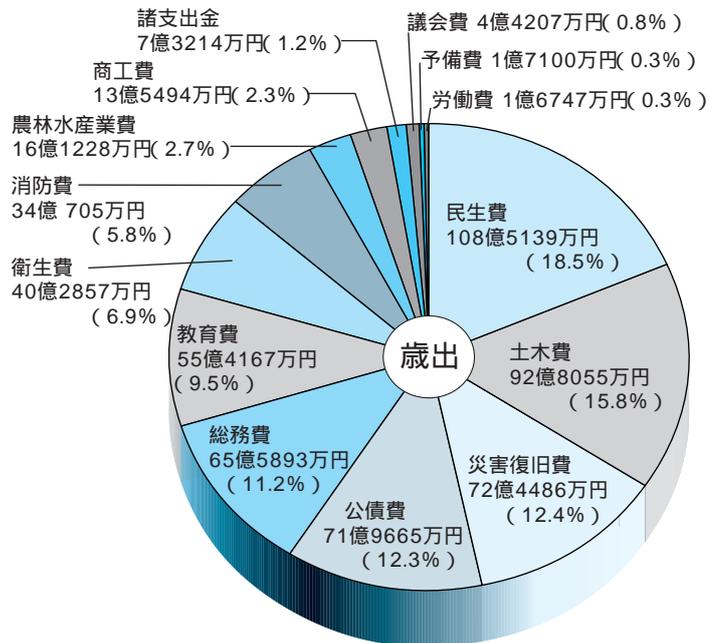
一般会計の歳出の内訳(グラフ2参照)で、トップは市民の皆さんの福祉増進に充てる民生費で、108億5139万円、全体の18.5%を占めています。次いで土木費が15.8%、最優先課題として位置づけている台風23号災害の災害復旧費が12.4%を占めています。また、借金返済に充てる公債費も12.3%と高い割合を占めています。

### 人件費、投資的経費などを大幅に圧縮

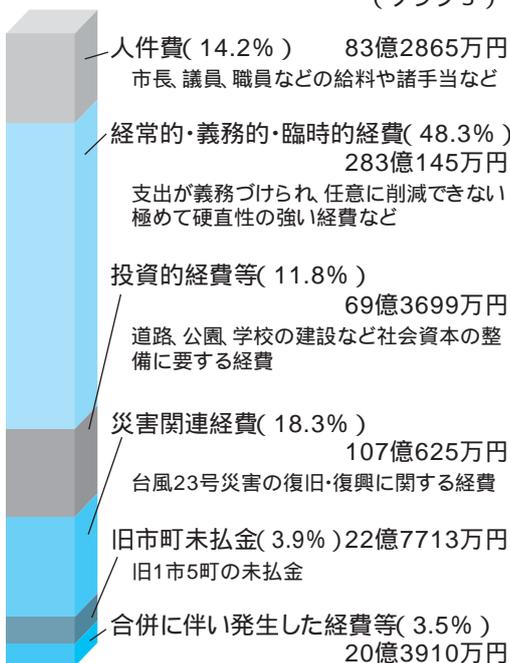
市町合併・災害関連経費など特殊事情を除き、歳出を性質別に見てみると(グラフ3参照)、人件費は83億2865万円、前年度と比べ7億1770万円、7.9%減となっています。

経常的・義務的・臨時的経費についても、前年度と比べ1億7100万円、0.6%の減となり、合併効果が現れ

(グラフ2)



(グラフ3)



ています。

また、投資的経費は69億3699万円、前年度と比べ3.3%減と大幅に圧縮しています。

一方で、歳入に占める経常的経費の割合を示す経常収支比率(注1)は93%と見込んでおり、旧1市5町平均の88.3%(平成15年度決算)から硬直化がさらに進行しています。

注1: 経常収支比率

人件費、扶助費、公債費等の義務的な性格の強い経常経費に、市税や普通交付税などの経常的に収入される一般財源がどの程度充当されているかを示すもので、財政構造の弾力性を示す指標として用いられているものです。

経常収支比率が高いほど、臨時の財政需要に充当できる財源が少ないことを表しており、財政構造が弾力的でないといえます。



# 平成17年度主要事業 再生と創造に向けた予算

平成17年度予算は、「再生と創造に向けた予算」と位置づけて編成しました。昨年の台風23号災害に関連し最優先課題として、傷ついたふるさとの復旧・復興を成し遂げるとともに、各種事業の展開により安心・安全なまちづくりをより一層進めます。

また、合併初年度として、新しいまちを創り上げるために、将来のまちづくりの基本となる新市総合計画、行政改革大綱の策定着手や特色あるソフト事業を展開していきます。

なお、17年度に計画している主要事業・施策は次のとおりです。



台風23号の教訓を踏まえ、地域防災計画の策定や洪水ハザードマップを作成するなど安心安全なまちづくりを進めます



各総合支所に地域特性経費を支給し、地域の特性を活かしたまちづくり事業を展開します

## 1. 災害復旧・復興の推進

地域防災計画の策定 854万円  
 台風23号災害の教訓を活かし、防災の要となる防災計画について年度内を目標に策定します。  
 消防装備品の購入 1億3020万円  
 救助工作車の更新や船外機付ボートなどを配備します。

豊岡消防署出石分署但東駐在所の設置 1000万円  
 但東総合支所2階に、救急を主体とした駐在所を設置するため実施設計に着手します。(17、18年度)  
 本庁と日高・但東総合支所に自家発電装置の設置 3000万円

災害対策本部が停電による機能低下を起さないように、本庁と日高・但東総合支所に非常用の自家発電装置を設置します。

洪水ハザードマップの作成 1800万円  
 浸水の被害を最小限度に留めるため、浸水予想や避難情報などを記載した洪水ハザードマップを作成します。

危機管理研修会の実施 43万円  
 危機管理能力を高めるため、職員および地域リーダーを対象にした危機管理研修会を実施します。  
 台風23号記念事業などの実施 82万円  
 地域防災の充実を図るため、台風23号記念事業や地域ごとに防災を語る会などを実施します。

## 2. 新生豊岡市の指針づくり

新総合計画の策定 847万円  
 新生「豊岡市」のまちづくりの羅針盤となる総合計画を平成18年度中を目標に策定します。(17、18年度)  
 行政改革大綱の策定 176万円  
 平成18年秋の策定を目指し、行政改革の指針となる大綱を策定します。(17、18年度)  
 新市誕生記念事業などの開催 831万円  
 新市の誕生を記念して7月に記念式典を開催します

## 3. 元気な経済の創生

観光対策の拡充 438万円  
 観光振興計画の策定を進めるとともに、ポケット版観光パンフレットやPR名刺などを作成し、新市の魅力を全国に発信します。  
 林道の整備 9283万円  
 日高地域において河江垣垣線の整備に着手するなど、林道整備を推進します。  
 湯の原温泉オートキャンプ場周辺等の整備 2億645万円

日高町殿地内に食材供給施設「そばの館」を整備するとともに、湯の原温泉オートキャンプ場にコテージなどを建設します。(16、19年度)

須井漁港海岸保全施設の整備 9634万円  
 竹野地域の須井漁港海岸において、砂浜の侵食を防ぐために、離岸堤、護岸、養浜工の対策を行います。(14、18年度)

豊岡駅前通アーケードの整備支援 3000万円  
 豊岡駅前通商店街振興組合が実施する老朽化したアーケードのリニューアル化を支援します。

城崎温泉街活性化施設の整備 500万円  
 城崎温泉街において魅力ある店舗を集積させ、新たな観光拠点を整備します。(15、18年度)

## 4. 豊かな環境の創造

地域まるごと博物館の整備 3000万円  
 県立コウノトリの郷公園周辺に地域交流の中核施設を整備します。(17、19年度)  
 コウノトリ未来・国際かきぎの開催 652万円  
 今秋の試験放鳥に合わせ、県や関係機関と連携しながら第3回目となる会議を9月24・25日に開催します。  
 出石城公園の整備 6727万円  
 出石城公園周辺の約2ヘクタールの土地を都市公園として整備します。(17、21年度)



出石の町並みの魅力をさらに高めるため、芝居小屋を復元



竹野・須井漁港海岸では砂浜の侵食を防ぐ工事を継続して進めます



今秋のコウノトリの試験放鳥に合わせ、「コウノトリ未来・国際かいぎ」を開催



但東総合支所に救急を主体とした豊岡消防署の駐在所を整備します



日高と養父市を結ぶ新たな基幹道路・知見八鹿線は平成19年に供用開始の予定



城崎温泉街活性化施設整備のため、基本設計に着手します

## 5. 心身の健康づくり

旧豊岡病院跡地利用基本計画の策定 1409万円  
豊岡病院の移転に伴い、中心市街地の賑わいづくりを含めた構想づくりの検討を行います。  
兵庫国体開催に向けた取り組み 4億316万円  
平成18年度の兵庫国体の開催に向けて、リハーサル大会の実施や啓発活動に取り組みます。

## 6. 健やかな子どもの育成

次世代育成支援対策・地域行動計画の見直し 39万円  
子育て支援、少子化対策を推進するため、計画の見直しを行います。(17~18年度)  
学校整備計画の策定 450万円  
平成18年度の策定を目指し、本年度は、耐震化等の調査、資料収集を行います。(17~18年度)

小学校プールの整備 2億6548万円  
港東小学校のプールを整備します。  
西保育園の整備 6億8174万円  
老朽化した西保育園(豊岡市正法寺)を移転改築します。(16~17年度)

新市地域間交流の促進 200万円  
新市の速やかな一体性を促進するため、地域に対する知識や理解を深める事業や市民交流を促進する事業を支援します。

## 7. コミュニティの醸成

永楽館の整備 5896万円  
城下町出石の新たな観光拠点施設として、近畿唯一の芝居小屋を復元します。(17~19年度)  
奈佐公民館の整備 1億6500万円  
老朽化した奈佐公民館を、県民交流広場事業を併設して整備します。(16~17年度)

## 8. 共生のまちづくり

対話と共感の市政の推進 2410万円

市政情報の積極的な提供および市民の意見の把握に努めるため、市広報紙の発行、コミュニティFや防災行政無線などによる定時放送、ホームページの充実などを図ります。

## 9. 交流基盤の整備

阿金谷轟線の整備 3000万円  
竹野地域において、県道日高竹野線の災害時の代替道路・バイパス道路として阿金谷轟線(総延長1、300メートル)を整備します。(10~19年度)  
知見八鹿線の整備 16億5125万円  
日高町知見と養父市八鹿町馬瀬を結ぶ通行不能道路(総延長1、480メートル)を改良します。(14~18年度)  
太田虫生線の整備 1億1200万円  
但東地域において、県の坂野バイパス事業着工に併せ、太田虫生線(総延長2、310メートル)を整備します。(16~20年度)

竹野橋の改良 1900万円  
狭幅員橋梁である竹野橋の一部拡幅を行います。(15~17年度)  
鍛福橋の架け替え 8000万円  
出石地域の奥山川において、台風23号の倒木で洪水を引き起こした鍛福橋を架け替えます。(16~18年度)

公営住宅の整備 11億2100万円  
豊岡今森団地(71戸)、城崎山団地(18戸)、但東如布団地(15戸)・出合団地(10戸)の建設を進めます。

## 10. その他のまちづくり施策

各総合支所へ地域特性経費を配分 2500万円  
特色ある地域づくりを推進するため、各総合支所に500万円ずつ配分します。